



カエルの調査

写真提供：大石 昌氏



開発されることのないトラスト地における生物調査の意義・生きものハンドブック（動物編）を作りました

県内14か所のトラスト地は周囲の土地がどのように造成・改変されようとも、決して開発されることがない場所です。そして、ボランティアの保全活動により現状のまま残されていくことになります。

自然は移ろいゆくもので、雑木林は放置すれば遷移が進みいつの間にか藪になり、気がつけば常緑樹の繁茂する暗い林になってしまいます。そうなると、雑木林に依存していた動植物は徐々に見られなくなっていきます。ただし、植物は完全になくなるのではなく埋土種子（シードバンク）として、じっとチャンスが来るのを待っているのです。

放置されていた雑木林がトラスト地になり保全活動が進むと、埋土種子が芽生えて以前の環境に少しずつ戻っていくことをいくつかのトラスト地で目にしました。時には外来種も見られますがそれらは、通路周辺に限られており雑木林の中に入り込むことはありません。このようにトラスト地をはじめとして保全活動が行われている雑木林は在来の動植物の大事な生息場所となっているのです。今後、長期にわたって保全されていくトラスト地にどんな生きものが見られるのか、そしてそれらの消長を記録し続けてしていくこともボランティアの大事な活動だと思えます。

環境省では、生きものモニタリングサイト1000という壮大な生物多様性調査に取り組んでいます。これは、全

国1000か所に調査サイトを設置し、長期にわたって基礎的な環境情報の収集を目的として実施しているものです。専門家集団のサイト（調査地）以外に市民調査員が参加して調査を進めているサイトもあります。このように広くボランティアの力を活用して生物多様性のネットワークを構築しているのです。

埼玉県のトラスト地で生きもの調査を進めるために、今般、トラスト地の生きものハンドブック（動物編）を作成しました。このハンドブックを活用してトラスト地の生きもの調べを継続的に行い、トラスト地の生きものデータベースを作成することを計画しています。今回のハンドブックは動物中心に作成しましたが、今後は植物を含めて対象を広げたものにしていきたいと思えます。

皆様方には引き続きトラスト運動にご協力いただき、トラスト地が生物多様性豊かな場所であり続けるようにご支援をよろしくお願いいたします。

（公財）さいたま緑のトラスト協会理事 小峯 昇



イベントのお知らせ

黒浜沼冬の野鳥観察会

1月18日(土)

9時30分～12時
(雨天中止)



集合場所 蓮田市環境学習館 9:20
蓮田市大字黒浜1061 ☎048-764-1850

協会員 無料 **一般** 300円 30人先着順 締切1/15(水)

▶ 昨年は準絶滅危惧のハイタカを観察することができました。

山崎山の雑木林 自然観察会と保全作業

2月8日(土)

9時30分～11時30分(小雨決行)
雨天の場合は2月16日(日)に延期

集合場所 「新しい村」ステージ前 9:30
宮代町字山崎777-1

参加費 無料 **申込** 不要

▶ 里山保全に興味のある方や、自然の中で身体を動かしてみたい方は是非ご参加ください。

▶ 共催：宮代町町民生活課 環境推進担当



トラスト地散策と シイタケのコマ打ちを楽しもう

3月7日(土) 10時～14時

集合場所 下記の2つから選択

- ①東武東上線武蔵嵐山駅改札口 9:00
- ②JA埼玉中央嵐山農産物直売所 9:15

持参 軍手、昼食、敷物など

協会員 300円 **一般** 500円

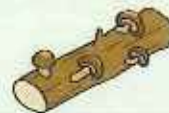
100人(抽選)
締切2/14(金)消印有効

申込 往復はがきに

- ①代表者名
- ②グループ全員の名前、学年 ③住所
- ④電話番号 ⑤会員/一般の別 ⑥集合場所を明記し、協会まで送付。

応募締切後、抽選の上返信はがきにてご案内いたします。

▶ 作ったシイタケの原木はお一人様1本お持ち帰りいただけます。



狭山湖とトラスト樹林地の冬鳥

2月15日(土)

9時30分～14時30分

集合場所 西武狭山線西武球場前駅 9:30

持参 昼食など

協会員 無料 **一般** 300円

30人先着順 締切2/12(水)

▶ 狭山湖とトラスト保全地で野鳥観察会を開催します。



第20回さいたま緑のトラスト 写真・動画コンクール入賞作品展示会

2月4日(火)～2月14日(金)

8時30分～17時

(ただし、初日は14:30から、最終日は12:00まで)

場所 大宮第二公園ギャラリー
さいたま市大宮区寿能町2-405
☎048-642-2228

参加費 入場無料

【対象】 小学生以上。小学生以下の参加は保護者が同伴してください。

【持ち物・服装】 <共通> 筆記用具、水筒、長袖、長ズボン、活動しやすい服装、靴で御参加ください。

<自然・野鳥観察会> 双眼鏡、図鑑などの観察用具、雨具、帽子

<保全活動> 軍手、作業靴、帽子 <クラフト工作> 軍手

【申込】 トラスト協会事務局まで Web 又はお電話にてお申し込みください。

申し込みは
こちら➡

各イベント等の詳しい説明は、
ホームページをご覧ください。



協会事務局からのお知らせ

ホームページ 入会やイベントの申し込みができます。 [さいたま緑のトラスト 検索](#)

Facebook イベントの様子などをアップしています。いいね!お願いします。 [trustkyokai 検索](#)

メーリングリスト イベントの募集や環境保全に関する相談など、気軽に情報交換が行える場として開設しています。自然に関するテーマであれば、協会員の方は誰でも投稿可能です。
申込：メールにて、お名前、連絡先、会員番号をトラスト協会まで送付ください。
宛先：main@saitama-greenerytrust.com



保全地紀行 加治丘陵・唐沢流域樹林地
今日も、楽しく、安全に山仕事です！



加治丘陵・唐沢流域に近づくにつれ、深山のよらかな爽やかな空気が流れてきます。

唐沢は6号地の中心を流れる小さな清流です。この唐沢を挟むようにヒノキ林やコナラ、ウワズミザクラなどの深い森があります。ここが私たちの活動の場です。

森にはサンコウチョウ、オオタカ、タヌキ、キツネ、カモシカ、シカ、イノシシ、アライグマなどの動物が生息し、草木では、チゴユリ、シュンラン、ヤマジノホトトギス、ヤマツツジ、ヤマザクラなど、四季を通じて様々な花を咲かせます。

6号地の仲間達、中高年の方が多いいのですが、近年女性も数人加わり、みんな仲良く張り切って活動しております。私たちのモットーは、「楽しく、ゆつくり、無理のない活動を！」です。

一緒に活動してくれる仲間募集中です。いつでもOK、待っています。

6号地
 ボランティアスタッフ
 久保田 鷹光

トラスト鳥図鑑・26

トラスト地で見られる野鳥 **スズメ**



身近に見られるスズメが減っているようです。これは日本だけのことではなく、英国王立鳥類保護協会によれば、ロンドンでは1994年からの10年間で60%も減少しています。特に都市部では餌を取る場所や営巣場所がなくなってきたこと、さらに環境汚染が原因とされています。たしかに、日本でも同じような状況の気がしますね。

このスズメですが日本には2種類います。いつも見るスズメと本州中部以北で繁殖し冬に平地に移動してくるニュウナイスズメです。



スズメの顔

また、ロンドンにいるスズメはHouse sparrow (家スズメ) で人慣れしていますが、日本のスズメはTree Sparrow (森スズメ) と種類が違い、人家近くに棲むものの人に対しては警戒心があるようです。かなり山奥でも人が住んでいれば見られるスズメですが、廃村になると不思議といなくなってしまいます。人の生活圏に入り込み暮らしているスズメが、いつまでも見られることを祈りつつ連載を終わります。



イエスズメ



ニュウナイスズメ雄

さいたま線のトラスト基金への大口寄附者
 (10万円以上、令和元年9月から令和元年11月)

- 株式会社 システムアドバンス、埼玉県信理法人会
- 株式会社 武蔵野銀行、株式会社ティーズエンターテイメント
- 株式会社 内山商事、株式会社 東農圃、日栄電機株式会社
- 株式会社 スーパーバリュー、株式会社 東建ジオテック
- 埼玉県電気工事工業組合、関口工業グループ社員一同
- カネパッケージ株式会社、小沢道路株式会社、オザワロード株式会社
- 新和環境株式会社、彩の国SPグループ、株式会社 グンリック
- 自治医科大学附属さいたま医療センター
- 一般財団法人 埼玉県建築安全協会、オカゼン株式会社
- ダイワ包材株式会社、株式会社 コーエイサービス
- 株式会社 コーエイクリーン、株式会社 マツナガ
- 公益社団法人 埼玉県宅地建物取引業協会、アコレ株式会社
- 他匿名希望3法人

[敬称略]

新しく会員になられた方々
 (令和元年9月から令和元年11月)

- 【個人】 8人 [敬称略]
- 【グループ】 1家族(4人) [敬称略]
- 【法人】 株式会社 小池勝次郎商店、株式会社 二光製作所
- 株式会社 ティーズエンターテイメント
- 株式会社 工藤孝建築設計事務所
- 有限会社 シルバーネットワーク、株式会社 とだか建設
- 株式会社 清水アーネット、日栄電機株式会社
- 株式会社 セオス、株式会社 丸喜運輸
- 株式会社 関東サービス工社
- 有限会社 野辺製作所、株式会社 ゆめいろ [敬称略]

<会員数(11月末現在)> 1,449人・団体

令和元年度緑のトラスト運動 指導員養成研修(報告)

日時：9月7日(土)～11月23日(土) 全6回
会場：トラスト保全地を含む県内各地
研修生：10名(うち修了生10名)

「緑のトラスト指導員養成研修を終えて」

研修生 石塚 勉

まわりの自然環境が人間生活の利便性を優先させて徐々に壊されていく現実をみて、なんとか緑を守りたいと思い、桶川市のみどりの会というところで雑木林の保全活動を行っています。そのグループの仲間と一緒に参加させていただきました。受講して印象深いのは、トラスト地の自然の豊かさやその広さ、多くの笑顔のボランティアスタッフの方に会えたことです。6号地の加治丘陵トラスト地での植物観察は、植物の名前だけでなく、その地域の文化や歴史を背景にした説明をしていただきました。また嵐山町の3号地での間伐の実技では、樹木を理論通りに倒せない難しさなどを経験しました。

講座では、活動中での事故防止策や事故が発生した際の対処方法などを実技も含めて学んだことはとても有効だと思いました。また生物多様性の重要性についてもいくつかの講座で学び再確認できました。計6回の研修でトラスト指導員としての基礎を学ばせていただき、この経験を元にトラスト地活動に活かしていこうと思っています。ありがとうございました。



会員の集い(公開講座)・ボランティアスタッフ交流会(報告)

11月23日(土)、令和元年度指導員養成研修修了式を兼ねた「会員の集い(公開講座)」が埼玉会館で開催され、会員、ボランティアスタッフの72名の方々にご参加いただきました。今年度は10名の研修生が全課程を受講し、太田理事長より修了証書を授与されました。



公開講座では外部講師をお招きし開催しました。NPO法人天竺山・多摩主山の自然を守る会の大石講師より「自然体験活動を楽しむ」と題して、スラックライン、石窯でパンやピザづくりなど若い会員を取り込むための楽しい企画についてお話しいたいただき、当協会の新規会員獲得の参考となりました。

環境科学国際センター研究員の安野講師より「森と川のつながりが支える生物多様性」について、実験やデータに基づいた、森と河川の食物連鎖での密接なつながりについてお話しいたいただきました。トラスト地やその周辺でも水環境を健全な状態に保つことが、生物多様性保全のために重要であると再確認できました。



当協会の太田理事長より「森から見る持続可能な社会と生物多様性の保全について～SDGsと生物多様性の保全～」と題して講演が行われました。「SDGs17の目標のうち、生態系サービスに関わる4つの目標が、その他の目標である社会や経済を支えている。私たちは、トラスト地という小さい範囲ですが、陸の生態系を守っていく重要な役割を担っている。」と今話題のSDGsや急拡大するESG投資についてお話しいたいただきました。



ボランティアスタッフ交流会

交流会では、研修修了生、ボランティアスタッフ、県、協会関係者など、トラスト運動に関わる方々が一堂に会し、各保全地での情報交換など親睦を図りました。



公益財団法人 さいたま緑のトラスト協会
〒330-0063 さいたま市浦和区高砂3-12-9 埼玉県農林会館内
電話 048(824)3661 ファックス 048(832)0292
ホームページ http://www.saitama-greenerytrust.com
メール main@saitama-greenerytrust.com
当協会に御寄付をいただいた方については、税額控除の特典を受けられます。
詳しくはHP又は事務室へお尋ねください。

●会費年額

個人	大人	1人	1,500円
	小・中・高校生 成年(一部納入)	1人	1,000円
家族		1家族	3,000円
グループ(5人以上)		1人	1,000円
法人		1口	10,000円



トラスト運動に御支援いただきありがとうございます。